

第九たいむず



No. 43 2009.4.2

通刊834担当 M

● メイコンサートまであと8回！！

● 桜が咲きました

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局長小野里)

♪メイコンサート チラシ・チケットが出来上がりました。とてもきれいなチラシとチケットです♪

♪総会とミニコンサートのご案内

日時: 2009年5月21日(木) 18時45分～総会 終了後、ミニコンサート

場所: 高崎カトリック教会

本日、お配りしました封筒の案内をご覧ください。入団したい方や、再入団の方等がいらっしゃいましたら、是非、お誘い合わせでお越しください。また、メイコンサート前の最後の合わせになりますので、出演される方は休まないようにしましょう。

※NPO法人としての総会ですので、定数及び議決権の確認を行います。

※総会に出席できない(可能性を含む)場合、あらかじめ委任状の提出をお願いします。

(提出方法: 団員・役員へ手渡し、練習会場持参、FAX、郵送のいずれか)

♪練習用CD 3種類あります。各1枚200円 受付にて販売中

「雪娘」練習用CD ・原曲 + パート別 ピアノ録音 ・指方先生歌 パート別録音

「日本の歌」練習用CD ・指方先生歌 パート別録音

☆指方先生と大里さんが自宅練習用に練習用CDを作ってくださいました♪是非活用してください。

♪第35回演奏会CD 及び DVD の販売 1枚1000円 受付にて販売中

♪5月24日(日)メイコンサート(音楽センター)について

*チケットについて 1人あたり 15枚お配りし、9000円を集金させていただきます。

・高校生以下は配布は致しません。

・チケット額面は1枚1000円です。追加のチケットは一枚500円でお渡します。

・今年は高崎市文化会館が改修工事のため、メイコンサートを群馬音楽センターで行うこととなりました。たくさんの方に聞きに来ていただけるように宣伝してください！

*衣装について

☆1ステージの衣装について

女声について 先週の多数決の結果、「白ブラウス+黒のロングスカート」に決まりました。

第九演奏会と同じですが、アクセサリは自由にお付けください。

男声について 未定

☆3ステージについては ロシアの民族衣装の雰囲気のを自前でご用意いただく予定です。

*チラシについて 公民館やお店等においていただくよう団員全員のご協力をお願いいたします。

♪ベートーヴェンの生涯 ② (第九HPより)

1827年3月26日はベートーヴェンの命日です。第九ホームページより、ベートーヴェンの生涯を抜粋して掲載いたします。

そして10歳からは、作曲の勉強を本格的に開始するため、新しく宮廷オルガニストに就任したばかりの若干31歳のネーフェに入門。このネーフェが、ベートーヴェンの後の偉大な作曲活動に大きな影響を与え、音楽家としての基礎を築いたその人と言っても過言ではないだろう。ネーフェはベートーヴェンの弾くピアノの音が全く死んでしまっているのに驚き、曲作りについて、まず彼に心の中に井戸を持つようやさしく教えた。「じっと目をつむって、井戸を思うのだ。静かな野原の真ん中にある井戸だ。君はその脇に寄りかかって、じっと中を覗くのだ。毎日それを思うのだよ。そう

するとね、やがてそこから想像がわきだしてくるのだ。他の作曲家の音楽などを聞くのではなく、街へ出て、風の音や小鳥のさえずり、木々のざわめきをよく聞くのだよ。」

ベートーヴェンは、おおらかなネーフェの人柄にすっかり魅了され、彼の仕事の無い日は毎日レッスンを受け、和音の学習、楽譜の書き方から楽式に至るまでを着実に学んでいった。ネーフェはさらに、自ら所有するドイツ、フランス、イタリア音楽の楽譜を彼に貸し与え、多彩な音楽への興味をかきたて、特に大バッハ(1685-1750)とエマヌエル・バッハ(1714-1788)の教材を多く用いた。これは当時においては非常に画期的なことで、つまり、当時のバッハはまだ一部の理解者だけが知る存在に過ぎなかったのである。

そのことから、ベートーヴェンがバッハの音楽をいかに詳細に作品分析したかがうかがえるが、そのほか鍵盤作品を室内楽に編曲する試みも行っており、それは後のあのそびえたつようなフーガとなって結実するのである。ネーフェはまた自分の不在や多忙の折り、ベートーヴェンに代役を任せて実戦経験を積ませ、音楽雑誌に彼のことを推薦し、その才能を讃えたりしたおかげで、ベートーヴェンは宮廷第二のオルガニストの地位に就任したのであった。

そのころ父ヨハンは自分の声の衰えを決定的に感じ、酒を飲む回数が増え、給料もそれで消えていくようになっていた。そのため家賃やパンの支払いがたまり、母はやつれ、弟は黙ってパンを盗んでくるような状況になっていた。楽士長は既に他の人に代わっていたため七光りも通用せず、一家の収入は益々ベートーヴェンの一肩に重くのしかかるようになっていったのだった。

そんな彼に、ネーフェは、「世界中にはもっと飢えや病気で苦しんでいる人たちが大勢いるのだよ。君はただ音符をいじるだけのつまらない音楽家になってはいけない。世界には、そこに住む人間の数だけ悲しみがあるのだ。本当に優れた音楽というのは、ただ宮廷の貴族なんかを楽しませるのではなく、そういう人たちの悲しみをいやすものでなければいけないのだよ。」と熱っぽく語っては励まし、ベートーヴェンの内に秘めた未知なる才能を既に見出していたのである。

働きながら学べる体制を作ってくれたネーフェの暖かい配慮に対して、後にベートーヴェンは、「将来自分が偉くなるようなことがあるとすれば、それは全く先生のおかげです。」と述べているが、実際彼の生涯を通じてこのような師は、ネーフェひとりのみであった。(つづく)

♪コンサート情報・行事情報

今週末です。

☆「歌声喫茶をもう一度」 ←詳細は赤羽先生へ

2009年4月5日(日) コートカフェ(高崎市役所21階) 18:00開始 3800円(お食事+ワンドリンク付)
その子先生がゲスト出演されます。

☆翼然音楽(Wing music)サロン・コンサート第二の夕べ「ロシアとヨーロッパでのチェンバロの響き」

2009年4月10日(金) WING(前橋I.C トイザラス近く) 18:00開場 18:30開演 入場料3500円
出演:辰巳美納子(チェンバロ) 高 杉(ヴァイオリン) レオニード・グリチン(チェロ)
スカルラッティ、バッハ、ヴィヴァルディ他の曲を演奏 4回通し券12000円 チケットはユリヤまで

☆塚越夏子個展(油絵)

2009年4月10日(金)~15日(水) シティギャラリー第6展示室 無料
塚越夏子さんは元団員さんです。30余年、描きためた油絵を一挙に展示。是非足を運びください。

☆「国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブin横浜」

2009年4月17日(金)・18日(土) 横浜みなとみらいホール・大ホール 入場料500円
赤羽先生率いる合唱団JOYさんが17日(午前11時くらい)に出演します。曲目は「海」がテーマの曲として「君と見た海」と、ロシアのオペラ、「エフゲニー・オネーギン」より「ラーリン家の舞踏会」の2曲です。その他、国内外60の合唱団が参加します。

☆ランチタイムコンサート 合唱団JOY出演

2009年6月19日(金) 12:15~12:45 の30分間 高崎市庁舎 中2階ロビー
曲は横浜で歌う2曲のほか、定期演奏会で人気の曲を数曲。入場無料

♪スロヴェニア公演参加される方へ

- ・高崎市中央公民館での練習は集会ホールで行います。
第二駐車場(無料)をご利用ください。
- ・ICEC(旅行会社用)黄色い申込書を未提出の方は、次回4月19日(日)までに必ずご提出ください。

